

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立林学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
	2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
	3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 広瀬 清美

学校教育目標	学校経営の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・明朗:心身を鍛え、明るく健康で思いやりのある生徒の育成 ・自主:自主・自律の精神に満ちた、実行力、責任感のある生徒の育成 ・創造:自ら学業に努力し、個性を育み、創造力豊かな生徒の育成 	(1)豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の充実を図る。(2)個に応じた指導とインクルーシブ教育を推進する。(3)学習指導の工夫改善を図り、すべての生徒に「確かな学力と体力」を身に付けさせる。(4)家庭・地域との連携と信頼を深め、社会に開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。(5)全教職員による学校経営参画のもと、相互の連携とチーム力を生かした指導体制を確立する。

今年度の重点目標

(1)力あふれる教育 (2)友だちつながる教育 (3)学び深まる教育

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学力向上に向けた取組に関する評価	1	授業規律の確立と指導と評価の一体化を目指した工夫と改善 昼休み学習会の定着化	わかりやすい授業を目指し、授業研究会を複数回行うことで教師の授業力向上と生徒の主体的な学び合いの定着化を図り、規律ある中で授業を進め、効果的に研究することができた。また、評価規準の明確化を意識し、冊子として保護者に手渡した。また、昼休みの学習会は、学カステップアップ支援員とともに細かい学習指導をした。	ユニバーサルデザインやインクルーシブ的な視点をもって授業改善を進め、学習会を年間通して実施し、よりきめ細かい学習指導を目指す。 また、定期試験を廃止し、よりきめ細かい教科指導の元、単元ごとの評価を充実させる。各教科の学習評価規準に加えて、単元テストや作品評価の時期を計画的に進める。
情緒面の育成に向けた取組に関する評価	1・2・3	生徒や家庭との連絡を密に行い、学校生活の様々な場面で生徒同士、生徒と教師の人間関係づくりに努める。	欠席の多い生徒への支援、ケースに応じて本人と保護者と学校で相談し支援の方向性を見出しながら対応した。 また、楽しく学校生活を送れているという項目が一番大切だと考え、より良い人間関係を築くため、生徒同士の人間関係、生徒と教師のコミュニケーションが取れるような取り組みを行った。生徒が学校生活や学習について相談しやすい人間関係を構築していきたい。	生徒が学校生活や学習について相談しやすい環境を考え、相談室やスタディールーム、リソースルームなどを設立、運営し、人間関係を構築する。
ESD(持続可能な社会のつくり手を育む教育)と学校行事、生徒会活動に関する評価	2・3	生徒会活動や学校行事を通して自主・自立の精神に満ちた実行力責任感のある生徒を育成する。	生徒会活動や学校行事も活発に運営し、自治的活動の意義を理解させ、活動することができた。 学校ホームページやブログを様々な場面で更新し、保護者の理解を得ることができた。	学校行事については、コロナの状況も鑑みてなるべく多くの機会に保護者が参観できる形を模索し、実行する。 また、個人情報に配慮しながら活動の様子を積極的に発信する。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

生徒たちが落ち着いた学校生活を送るための環境づくりをさらに推進していただきたい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

生徒による学校評価では、昨年同様「学校行事が楽しい」「挨拶をすることがしっかりできている」や「学校生活のルールやマナーは守れている」の項目等で安定した高い数値を出しており、前向きに学校生活を送っていると言える。次年度は、新たな学校教育目標として、お互いを尊重し、共に支え合う「共生」、自ら考え、判断、決定、行動する「自律」、豊かな発想を持ち、未来を切り開く「創造」を掲げESDとの関連を深めながら、教育活動を進めたい。